

東住吉区地域福祉サポート事業にかかる事業評価結果

(1) 事業の実施状況の評価

評価	左記の理由
3.3	一定の安定した運営がなされている。 全体的に事業運営は順調に実施されている。

(2) 事業の実施体制の評価

評価	左記の理由
3.3	事業遂行に向けた実施体制は整備されている。 現状に合わせた幅広いサポートとさらなる質の向上に期待する。

(3) 目標の達成状況

評価	左記の理由
3.3	<p>≪「東住吉区地域福祉サポートセンター」の運営について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月サポーター連絡会を開催し、前向きに研修に取り組まれている努力がみられる。 ・LINEの活用やノートPCの導入など連携強化が図られている。 ・広報活動の工夫が一部みられるがSNSの活用など従来とは別の方法での広報活動も必要である。また、チラシ等の広報活動の効果はアンケート等でも不明である。 ・アンケート調査や事業実績について、過去のデータとの比較など分析方法を改善し今後の活動につなげてほしい。また、集計やアンケート回収の方法にさらなる工夫が必要。 <p>≪「地域相談窓口」の運営について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の対応の努力は見受けられる。今後、区政との連携での解決が望まれる。 ・地域ごとの相談について分析を行い、各地域の特性に合った対応を考えてほしい。地域差の要因の一つである新人サポーターへの支援は実施されている。今後、さらによりよい支援の展開を求めたい。 <p>≪「見守り相談室との連携」について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題なく実施されているが、区社協という特性を活かした工夫を期待したい。 ・要援護者や見守りが必要な方への取り組みや支援の連携は、幅広い市民貢献として評価できる。 <p>≪「生活支援コーディネーターとの連携」について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に出てこない方々のためのイベントに、色々なケースに喜ばれるような多様な視点を取り入れてほしい。 ・区社協という特性を活かして、さらなる取り組みの充実に期待したい。 ・「男性の居場所」という複数の地域に共通する地域課題を見つけ、新たな取り組みを行った点は評価できる。 <p>≪「区・区社協との連携」について≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支え合い活動として、地元専門学校と連携し、高齢者の新たな居場所づくりを行うなど一定の評価はできる。 ・区社協内の他事業との情報共有・連携を進めるなど、さらに専門性を活かす知恵を発揮してもらいたい。

※評価指標については別紙を参照

(4) 各委員の評価

①事業の実施状況の評価

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	3.0	3.0	4.0

②事業の実施体制の評価

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	3.0	3.0	4.0

③目標の達成状況

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	3.1	3.2	3.7

(5) 主な意見等

- ・毎月、地域福祉サポーター参加の会議を実施し、前向きに情報共有や研修に取り組んだり、LINE の活用による各地域福祉サポーターとの連携への取り組みは評価できる。また、ノート PC の導入は SNS への発信など、今後の活動の発展にもつながるだろう。
- ・支え合い活動として、地元専門学校と連携し、高齢者の新たな居場所づくりを行うなど一定の評価はできる。
- ・事業実施にあたっては、区の社会福祉協議会という特性を活かした工夫や専門性を活かす知恵の發揮、また、区社会福祉協議会内の他事業との情報共有・連携をさらに進め、取り組んでもらいたい。
- ・アンケート調査について、集計方法・アンケート回収方法・分析方法にさらなる工夫が必要であり、分析、考察を深めて活かしてほしい。また、単年度事業であるが、年ごとの推移などについても分析し、結果の読み取りなどを十分に検討し、今後の活動の改善等につなげていただきたい。
- ・各地域福祉サポーター個々の相談対応の努力は見受けられるが、地域差があるように思われるため、その状況を分析し対応してほしい。地域差の要因の一つである新人サポーターへの支援等、よりよい地域福祉サポーターへの支援の展開を求めたい。